人権のひろば

Vol.261

「人権のひろば」に対するご意見、ご感想は秘書広報課または、人権室までお寄せください。

コロナ禍で考える「子ども基本条例」

人々が自由に出歩き、のびのびと過ごすことが難しくなってから2年が経過しようとしています。この間、子どもたちの成長にも大きな影響が及びました。

国立成育医療研究センターが実施しているアンケート調査では、「コロナのことを考えると嫌な気持ちになる」「すぐにイライラする」「最近集中できない」などコロナが原因で何らかのストレスがあると回答した子どもが全体の76％でした。また32％が、自分や家族が感染したら「秘密にしたい」と答え、22％が感染した人とは治ったあとでも「あまり一緒には遊びたくない」と答えています。子どもたちの間で、感染者への偏見や差別意識が生まれていることも分かりました。

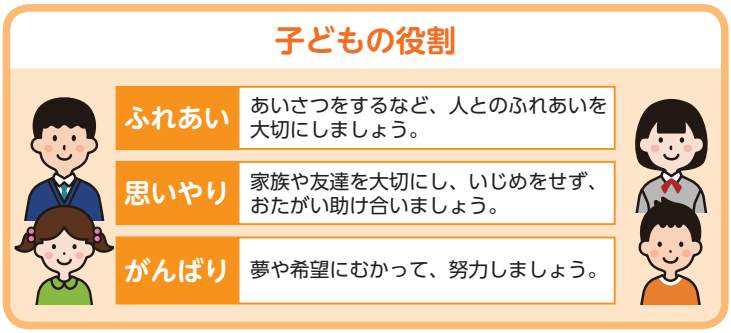
このような中で子どもたちに、自分も他の人も大切にすることの重要性を伝えるにはどうすればいいでしょうか。

大東市には、保護者・学校・まちの人たち・大東市が力を合わせて、子どもたちの成長を支えることを目的とした「大東市子ども基本条例」があります。そこでは、子どもたちに対する大人の役割（図1）と子どもの役割（図2）を定めています。

人と人との関係が不安定になっているコロナ禍において、子どもたちが抱える不安やストレスを取り除くために、周りの大人たちが自らの役割を振り返り、協力しあうことが大切です。それは子どもの成長過程で、とても重要なことであり、大人も子どもも人を思いやる優しい気持ちをもつ姿勢こそが、子どもたちが健やかに育つことにつながっていくのではないでしょうか。

図1

図2



消費生活センターだより シリーズ222

無料体験から有料への移行にご用心！ ～サブスクで請求トラブル～

相談概要

ネットで30日間無料の動画配信サービスを見つけクレジットカード番号を入力し申込完了。無料で動画配信を楽しんでいたが、数か月後、クレジットカードの請求内容を確認すると4か月分の料金が既に引き落とされていた。無料期間が過ぎたと気が付き、解約しようとしたがパスワードが分からず、解約手続きができない。

アドバイス

サブスクとはサブスクリプションサービスの略語で、定額でサービスや商品を利用できるという継続的な契約です。当初の無料期間だけのつもりで申し込んでも解約手続きを忘れ、有料の定期契約に移行するという形態が増えています。契約前には規約をよく確認することが大切です。またパスワードを忘れて解約手続きに進めないという相談も増えています。パスワードはしっかりと自己管理し、クレジットカードの利用明細も毎月忘れず確認しましょう。分からないことがあれば消費生活センターにお問い合わせください。

問消費生活センター☎870・0492（土・日曜日、祝日を除く）